

Blue Bird Duo



グループ名は学校名から。ともに東京都立青鳥特別支援学校卒業。世田谷区在住。



小柳拓人
フルート・ピアノ

1994年生まれ。幼少時、多動で奇声を発し言葉の遅れがあった中、唯一音楽に興味を示したことから、5歳よりピアノをはじめ。指番号へのこだわりや毎日決まったことを時間通りに行うことで落ち着くといった自閉症の特性がピアノ練習に功を奏する。16才以降「国際障害者ピアノフェスティバル」金賞他多数。19才「ピョンチャンススペシャルミュージックフェスティバル」第1位。23才「香港自閉症才能コンテスト」殿堂入り。吹奏楽部をきっかけに12歳からはじめたフルートでは、オーケストラ参加やダンスとのコラボを展開。カナダ、台湾、韓国、アメリカ、中国でも演奏。NHKTVでも紹介される。大和ライフプラス（株）勤務。HP公開中。



阪田晃彦
クラリネット・ピアノ

1996年京都府生まれ。幼年期より精神面、運動面で大きな遅れがあり、3歳の時に障害が判明。健康で規則正しい生活を送ることを目標に過ごす中、歌やピアノ、和太鼓等に音に強く関心を示しはじめる。小学5年での上京をきっかけにピアノを、中学での吹奏楽部入部をきっかけにクラリネットを始める。読譜や指・腕の使い方に苦勞しながらも、繰り返しの練習を日々熱心に続ける中、少しずつ進歩がみられるようになる。日本障害者ピアノ指導者研究会全国大会、地域で開催されるコンサート、発表会等での演奏と多くの出会いを励みに今日に至る。2015年より、(株)パレスホテルに勤務。休日は音楽活動の他、登山、マラソン等のアウトドアを楽しむ。

自閉症は脳の認知障害であり、物の認知の仕方、見え方、感じ方に違いがあります。そのことが、対人関係の難しさ、コミュニケーションの難しさ、こだわりや興味の狭さといった特性に現れます。記憶力など一部の機能が特に優れていることもあり、音楽、絵画、文学、科学の分野で能力を発揮する人もいます。Blue Bird の2人は、音楽というツールによって自分の内面を表現したり、二重奏をすることで人と合わせる楽しさを感じ、今では音楽が日々の生活に欠かせないものとなっています。